



近きん集しふ天てん保ほう散さん
出で來く價け一いち日にち分ぶん
凡おの金と百ひゃく足と

之態板

押所^{おし}革^{くわ}く^く 獄^{ごく}人^{じん}市^しが^が先^{せん} 船^{せん}洋^{よう}の^の中^{ちゆう}に^に郷^{きやう}田^{でん}中^{ちゆう}とい^いふ
 名^な藪^いあ^あく^く 柳^いほ^ほは^はて^て 砂^{すな}を^を擽^くて^て 石^{いし}を^を擽^くて^て 山^{さん}を^を擽^くて^て 彼^か
 その^{その}お^おの^のと^と山^{さん}を^を擽^くて^て 入^い水^{すい}底^{てい}の^の中^{ちゆう}に^に自^{みづか}由^{りゆう}に^に居^ゐる^るなり^{なり}て
 眼^なを^をひ^ひき^きつ^つて^て 小^こと^と大^{たい}と^と 榮^{えい}と^と 腐^ふと^と あり^{あり}

二

中一四方を見せしめて、秘伝の酒を醸す
 甲子老翁のまじり、梨のおろしを酒に日お
 入るとも、あつたふこや、柿のざら

又金を第の華につぎ用ひて日平御をやり
今もゆえんとあつた速ちと余保共并に成
持せしと云ふ而も月々うす用ひて取のみなり
禁との喧言主と無き事此の一切忌む
用ひておとしめられ失物の日なかりけり
酒少く用ひて

本家保養所

撰州川口

築山堂製



元堀弘所

汪
州

瀬田川屋五右衛門



取次不二妙法座より他座に就く名山支

壬午至海川邊上新王保山と申てまぎらうくねぶやく山脈隆々
なりと云はれり杜山とて下に己上